16 建具工事

① ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具　(16.2.2～4)(表16.2.1)(表16.2.2)

種　別	外部に面する建具	内部建具
※普通サッシ	・A種　⊙B種　・C種　・D種　・E種　・（　）	
・防音サッシ	性能（　）	
・断熱サッシ	性能（　）	
表面処理	・A-1種　・A-2種　※B-1種　・（　）	※C-1種　・C-2種

※枠の見込み寸法　⊙図示による　・（　）

2．網戸　※外面納まりの可動式　・（　）　(16.2.3～4)
網の材種　※合成樹脂製　・ガラス繊維入り合成樹脂製　・ステンレス製

3．樹脂製建具　(16.3.2)(表16.3.1)(表16.3.2)

種　別	外部に面する建具	内部建具
※普通サッシ	・A種　・B種　・C種　・D種　・E種　・（　）	
・防音サッシ	性能（　）	
・断熱サッシ	性能（　）	

※枠の見込み寸法　・図示による　・（　）

④ 鋼製建具　簡易気密型ドアセットの性能値　(16.4.2)
※適用する（※A－3　・　）　・適用しない
亜鉛めっき鋼板のめっき付着量　※Z１２又はF１２　・（　）　(16.4.3)
鋼板の厚さ　※「標仕」表16.4.2による　・建具表による　(16.4.4)

5．鋼製軽量建具　簡易気密型ドアセット　※適用する（※A－3　・　）　・適用しない　(16.5.2)
ビニール被覆鋼板　・適用する　・適用しない　(16.5.3)
カラー鋼板　・適用する　・適用しない
召合わせ、縦小口包み板などの材質　※鋼板　・ステンレス鋼板　・（　）
鋼板の厚さ　※「標仕」表16.5.1による　・建具表による　(16.5.4)

6．ステンレス製建具　材質　※SUS304・（　）　表面仕上げ　※HL　・（　）　(16.6.2～5)
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ

⑦ 木製建具　建具材の加工、組立時の含水率　・A種　※B種　・C種　(表16.7.1)(16.7.2～4)
合板　※普通合板　・天然木化粧合板　・特殊加工化粧合板
ミディアムデンシティファイバーボード（ＭＤＦ）及びパーティクルボード
ホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆等級のもの　・F☆☆☆等級のもの
かまち戸の樹種　かまち（　）　鏡板（　）
ふすまの上張り　・新鳥の子程度又はビニル紙程度　・鳥の子
フラッシュ戸の表面板の厚さ　※「標仕」表16.7.6による　・（　）
フラッシュ戸の工法　※「標仕」表16.7.7による　・（　）

⑧ 建具用金物　見本品を監督員に提出して承諾を受ける。　(表16.8.1)(16.8.2～4)
マスターキー　※製作する（※新規　・既存に合わせる）　・製作しない
建具金物の種類　(表16.8.1)

種　類	品 質 ・ 規 格
シリンダ箱錠 本締り錠 ドアクローザ	評価名簿による。
ピボットヒンジ	
ヒンジクローザ フロアヒンジ	評価名簿による。

9．自動ドア開閉装置　駆動装置の性能値　(16.9.2～3)
引き戸用　※「標仕」表16.9.1による　・（　）
引き戸（多機能トイレ）用　※「標仕」表16.9.2による　・（　）
検出装置　※「標仕」表16.9.3による　・（　）
戸の開閉方式　※図示による　・（　）
検出装置の種類　・光線（反射）センサー　・熱線センサー　・音波センサー
・光電センサー　・電波センサー
・タッチスイッチ　・押しボタンスイッチ　・多機能トイレスイッチ
工事範囲　一次測配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次測配線は本工事に含む。

10．重量シャッター　機能による種類　(16.11.2～4)
・管理用　・防火（・外壁用　・屋内用）　・防煙
シャッターケース（防火・防煙以外の場合）　・設ける　・設けない　(16.11.2)
開閉機能による種類　(表16.11.1)
※上部電動式（手動併用）電源※　φ　V　kw 以下（過電流保護装置付）
・上部手動式
耐風圧強度　・（　）
屋内用防火、防煙シャッターの危害防止機構　※障害物感知装置・シャッター二段降下方式
落下防止装置　・二重チェーン　・急降下制動装置　・急降下停止装置
設置個所は図示による
工事範囲　一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は本工事に含む。

11．軽量シャッター　開閉機能による種類　(16.12.2～4)(表16.12.1)
※手動式
・上部電動式（手動併用）電源※　φ　V　kw 以下（過電流保護装置付）
耐風圧強度　・（　）
スラットの形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形
工事範囲　一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は本工事に含む。

⑫. ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ　セクション材料　※スチールタイプ　・アルミニウムタイプ　(16.13.2)
・ファイバーグラスタイプ
開閉方式　※バランス式　・チェーン式　・電動式
収納方式　⊙スタンダード形　・ローヘッド形　・ハイリフト形
・バーチカル形
ガイドレール　※溶融亜鉛めっき鋼板　・ステンレス鋼板（SUS304）　(16.13.3)
耐風圧性能　・（　）

⑬. ガラス　建具に取り付けるガラス及びガラスブロックは図面図示（建具表）による。　(16.14.2)
ガラス留め材　(16.14.2.(2))(16.14.3)

建具の種類	材　種	
アルミニウム製	※シーリング材（SR-1）	・グレイジングガスケット
鋼製、ステンレス製	※シーリング材（SR-1）	

ただし、防火戸は建築基準法に基づく個別認定品とする。

17 カーテンウォール工事

1．メタルカーテンウォール　(17.1.3)(17.2.2)

種　別	
主要構成材料	※アルミニウム製　・ステンレス製
気密性	・A-3　・A-4　・（　）
水密性	・W-4　・W-5　・（　）
枠の見込み寸法	※図示
表面処理	・A-1種　・B-1種　・（　）
耐震性（層間変位量）	※±1/200ｈ以上　・（　）
遮音性	・T-3　・T-4　・（　）
断熱性	・H-4　・H-5　・（　）
耐火性	・適用しない　・適用する（　）時間

耐風圧性能　※建築基準法で定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧　kg／㎡以上及び負圧　kg／㎡以上に対して安全であること
シーリング材及びガラス留め材の種類　(17.2.2)
・金　属－－－ガラスの場合　（　）
・金　属－－－石、タイルの場合（　）
・ガラス－－－ガラスの場合　（　）
・上記以外のシーリング材の種類は「標仕」表9.7.1による
構造用ガスケット　※適用しない　・適用する（施工箇所：　）
断熱材　※適用しない　・適用する（種類：　厚さ：　施工箇所：図示）
熱線反射ガラスの映像調整　※行う　・行わない
カーテンウォールの方式
・方立方式
・バックマリオン方式（・単純２片支持構法　・ＳＳＧ構法）
・パネル方式
・スパンドレル方式
・小型パネル組み合わせ方式（・ノックダウン方式　・ユニット方式）

2．ＰＣカーテンウォール　コンクリートの種類及び品質　(17.3.2)
コンクリートの種類　※軽量コンクリートの１種　・（　）
設計基準強度（Fc）　※３０N/mm²　・（　）
所要スランプ　※12cm以下　・（　）
鉄筋　※ＳＤ２９５Ａ　・（　）
補強鉄線　※図示による
目地用シーリング材　※（　）
断熱材　※適用しない　・適用する（種類：　厚さ：　施工箇所：図示）
先付け材料等　※図示による
表面仕上げ　※（　）
耐風圧性能　※建築基準法に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧　kg／㎡以上及び負圧　kg／㎡以上に対して安全であること
耐震性能（層間変位量）　※±１／２００ｈ以上　・（　）

18 塗装工事

① 材料　屋内の壁及び天井の塗装仕上げ材は、建築基準法に基づき防火材料の指定又は認定を受けたものとする。　(18.1.3)
塗料は、トルエン等の含有量が少ない規格品とする。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・（　）

② 塗装業者　・（-社）日本塗装工業会の会員　※監督員の承諾する塗装業者

③ 素地ごしらえ　(表18.2.1)～(表18.2.7)

素地	種別	備考
・木部	※Ａ種（不透明塗料塗りの場合） ※Ｂ種（透明塗料塗りの場合）	
・鉄鋼面	・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種	
・亜鉛めっき鋼面	・Ａ種　・Ｂ種	
・モルタル面、プラスター面	・Ａ種　※Ｂ種	
・コンクリート面、ＡＬＣパネル面	・Ａ種　※Ｂ種	
・押出成形セメント板面	・Ａ種　・Ｂ種	
⊙ボード面	※Ａ種　・Ｂ種 ・Ａ種　※Ｂ種	目地継ぎ目処理工法

④ 錆止め塗料塗り　塗料種別　(表18.3.1)～(表18.3.2)

塗装面	種別	備考
⊙鉄鋼面	※Ａ種（屋外）　※Ｂ種（屋内） ・Ｂ種（ＥＰ－Ｇの場合）	
・亜鉛めっき鋼面	※Ａ種　・Ｂ種 ・Ｃ種（ＥＰ－Ｇの場合）	

錆止め塗料塗り　(表18.3.3)

塗装面	種別	備考
⊙鉄鋼面	※Ａ種（見え掛かり部）　※Ｂ種（見隠れ部）	
	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種	
・亜鉛めっき鋼面面	※Ａ種（鋼製建具等）・Ｂ種	
	・Ａ種　・Ｂ種	

5．合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り(SOP)　(表18.4.1)～(表18.4.3)

塗装面	種別	塗料の種類	備考
・木部	※Ａ種　・Ｂ種	※１種　・２種	
・鉄鋼面	・Ａ種　※Ｂ種	※１種　・２種	
・亜鉛めっき鋼面面		※１種　・２種	

⑥ クリヤラッカー塗り（ＣＬ）　(表18.5.1)

塗装面	種別	備考
⊙木部	・Ａ種　※Ｂ種	窓額縁

7．アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（ＮＡＤ）　(表18.6.1)

塗装面	種別	備考
	・Ａ種　※Ｂ種	
	・Ａ種　※Ｂ種	

8．耐候性塗料塗り（ＤＰ）　(表18.7.1)～(表18.7.3)

塗装面	塗装面	塗料の種類	備考
	・Ａ種　・Ｂ種	※上塗り１級　・（　）	
	・Ａ種　・Ｂ種	※上塗り１級　・（　）	

⑨ つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り（ＥＰ－Ｇ）　(表18.8.1)～(表18.8.4)

塗装面	種別	備考
・木部	※Ａ種　・Ｂ種	
・鉄鋼面	・Ａ種　※Ｂ種	
・亜鉛めっき鋼面	・Ａ種　・Ｂ種	
・コンクリート面	・Ａ種　※Ｂ種	
⊙ボード面	・Ａ種　※Ｂ種	

10．合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り（ＥＰ）　(表18.9.1)

塗装面	種別	備考
	・Ａ種　※Ｂ種	
	・Ａ種　※Ｂ種	

11．合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り（ＥＰ－Ｔ）　(表18.10.1)

塗装面	種別	備考
	・Ａ種　※Ｂ種	
	・Ａ種　※Ｂ種	

12．ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）　(表18.11.1)

塗装面	種別	備考
	・Ａ種　※Ｂ種	
	・Ａ種　※Ｂ種	

13．オイルステイン塗り（ＯＳ）　(表18.12.1)

塗装面	備考

15．木材保護塗装塗り（ＷＰ）　(表18.13.1)

塗装面	種別	備考
	・Ａ種　※Ｂ種	
	・Ａ種　※Ｂ種	

16．屋内水系塗料塗り　屋内の木部、鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面のつや有合成樹脂エマルションペイント塗りに適用する。

19 内装工事

① 接着剤　壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤は、トルエン等の含有量が少ない規格品とする。壁紙用の接着剤は、フタル酸ジーｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用している規格品とする。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・（　）　(19.2.2)

② ビニル床シート張り　(19.2.2)(19.2.3)

材　種	種　類	記号	色柄	厚さ	工　法	特殊機能	備　考
ビニル床シート	※発泡層のないもの ・発泡層のあるもの	※ＦＳ ・（　）	※無地 ・模様	※2.5 ・（　）	※熱溶接 ・突付け	・帯電防止 ・耐動荷重性 ・防滑性 ・耐薬品性	

3．ビニル床タイル張り　(19.2.2)(19.2.3)

材　種	種　類	形　状	厚　さ	色　柄
ビニル床タイル	※コンポジションビニル床タイル（半硬質） ・コンポジションビニル床タイル（硬質） ・ホモジニアスビニル床タイル	※300角 ・（　）	※2 ・3 ・（　）	図示による
	・帯電防止ビニル床タイル（置敷タイプ）	※500角	※2	
	・帯電防止ビニル床タイル（パネル一体タイプ）	・（　）	・（　）	

帯電防止ビニル床タイル（置敷タイプ）の接着剤は粘着剤離形とし、製造所の指定する製品とする。

④ ビニル幅木　材種　※軟質　・硬質　(19.2.2)
厚さ　※２　・（　）
高さ　※60　・75　・100　・（　）

5．カーペット敷き　織じゅうたん　(19.3.1～3)(表19.3.1)(表19.3.2)

種　別	織 り 方	パイルの形状	色　柄	備　考
・A種 ・B種 ※C種	・ウィルトン ・ダブルフェース ・アキスミンスター	※カットパイル ・ループパイル ・（　）	※無地 ・柄物	・防虫加工品 ・人体帯電圧 ※3kv以下・（　）

下敷き材　※反毛フェルト（JIS L 3204）第２種２号（厚８）

タフテッドカーペット　(19.3.1～3)(表19.3.1)(表19.3.2)

パイル形状	パイル長	工　法	備　考
・カットパイル	※５～７　・（　）	※全面接着工法	・人体帯電圧
・マルチレベルループ	※４～６　・（　）	・グリッパー工法	※3kv以下・（　）
・レベルループパイル	※４　・（　）		
・カット、ループ併用	・（　）		

タイルカーペット　(19.3.1～3)(表19.3.1)(表19.3.2)

種　別	パイルの形状	寸　法	総厚さ	色柄	電気抵抗
※一種	※ループパイル	※５００角	※6.5	※無地	※適用しない
・二種	・カットパイル	・（　）	・（　）	・柄物	・10^{5}　Ω以下

6．合成樹脂塗り床　(19.4.2)(19.4.3)(表19.4.3～7)

種　別	仕 上 げ の 種 類
・弾性ウレタン塗り床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗り床材	※薄膜流し展べ仕上げ　・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑　・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑　・防滑）　・防滑仕上げ

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・（　）

7．防塵用塗料塗り　材　質　水性アクリル系樹脂塗料（※標準色　・　）
仕上種別　コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗 布 量　主剤２回塗りとし、総塗布量は０．２５kg／㎡以上

⑧ フローリング張り　(19.5.2～19.5.7)(表19.5.1～表19.5.4)

類　別	樹　種	工 法 及 び 寸 法	厚さ・大きさ(mm)	塗　装
※複合フローリング 複　合　・（　）	※なら ・（　）	※釘どめ工法 ・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種 ・接着工法	厚さ・15　・（　） 幅・75　・90・（　） 長さ・　以上	※塗装品 ・無塗装品
単　層　・（　）	・（　）	・（　）		

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・（　）

9．体育館用フローリング張り
樹　種　・（　）
接 着 剤　・酢酸ビニル系エマルション　・エポキシ樹脂系
表面塗装　・ポリウレタン樹脂塗料３回塗り　・（　）
張り付け　・下張り板に接着剤で接着し、隠し釘と脳天釘で止める
下張り板　・１２mm以上（木製根太）　・１５mm以上（鋼製根太）
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・（　）
厚さ・　幅・　(表19.6.1)

10．畳敷き　※別添1　畳工事特記仕様書による

⑪. せっこうボードその他ボードおよび合板張り　(19.7.2)

材　種	種　別	張 り 方	厚　さ	備　考
⊙せっこうボード		・下地張り ⊙上張り	・突付け ・目透し ⊙継目処理工法	・9.5 ⊙2.5 ・15	
・化粧せっこうボード	・トラバーチン模様	・直張り	※突付け	※9.5	寸法 ※450×910 ・910×910
	・木目模様 （表桟付）	・直張り	※目透し	※9.5	専用軽鉄下地材付き
・無石綿けい酸カルシウム板			・目透し ・継目処理 ・面取り突付け	※6　・8 ・10　⊙12 ・（　）	タイプⅡ（無石綿）
・木質セメント板	・硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板 ・普通木毛ｾﾒﾝﾄ板	・打込み ・張付け ・敷込み		・20 ※25 ・30	
・繊維板 ・ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ					
・天然木化粧合板					・福岡県産材

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・（　）
遮音シール材　※アクリル系シーリング材　・ジョイントコンパウンド

20 ユニット及びその他工事

⑫. 壁紙張り　(19.7.2)(19.7.3)

材　種	表 面 の 品 質	厚　さ	工　法
・普 通 合 板	生地のまま又は透明塗料塗りの場合 ※ラワン程度　・（　）	・5.5　・9　・12	※A種
	不透明塗料塗りの場合 ※しな程度　・（　）	・5.5　・9　・12	・B種
・天然木化粧合板	・（　）	・（　）	

壁又は天井に使用する合板は、建築基準法に基づき防火材料の指定又は認定を受けたもの。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・（　）
パーティクルボード及びＭＤＦのホルムアルデヒド放散量　(19.7.2)
※Ｆ☆☆☆☆　・（　）

壁紙はJIS A 6921により、建築基準法に基づく防火材料の指定または認定を受けたもの。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・（　）　(19.8.2)

施 工 箇 所	品　質	種　度	防火性能の級別
			・1級　・2級　・（　）
			・1級　・2級　・（　）
			・1級　・2級　・（　）
			・1級　・2級　・（　）

素地ごしらえの種別　(19.8.3)
モルタル及びプラスター面　・Ａ種　※Ｂ種
せっこうボード面　・Ａ種　※Ｂ種
施工業者　※内装専門業者とする　・（　）

13．断熱材
・打込み断熱材　(19.9.2)

材　種	種　類	厚　さ
※押出法ポリスチレンフォーム保温板 （スキンなし）	※A種2種b　・（　） ・A種3種b（接地部分）	※25　・（　30　） 土間
・硬質ウレタンフォーム	・A種　・（　）	・（　）

ホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・（　）
施工箇所
※現場発泡工法に示された施工箇所以外の箇所
・（　）
⊙現場発泡断熱材（吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材）　(19.9.3)
難 燃 性　※３級　・２級
厚　さ　・２５　⊙（　20　）
施工箇所　※窓回り等の断熱補修部分　⊙（ RFデッキプレート室内面　）

14．吸音材

材　種	品 質 ・ 規 格	厚　さ
・ロックウール吸音材	ロックウール吸音ボードⅠ号（60K）	・25　・（　）
・グラスウール吸音材	グラスウール吸音ボードⅡ2号32K ガラスクロス（ＪＩＳ R3414-P-17A）額縁張	※25

ガラスクロス張りグラスウール吸音ボード（910×1820）の取付け工法
ポロプロピレン及びプラスチックファスナー留め　４本／㎡程度以上

15．ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ床下地材
畳下地　厚さ　※４０　・６５　・８０
フローリング類　厚さ　※８０　・９５

1．フリーアクセスフロア　(20.2.2)

施工箇所	構　法	寸法（mm）	高さ（mm）	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上材	備　考
	・パネル構法 ・溝構法	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

帯電防止性能（U値）　・0.6以上　・1.2以上　・（　）
感電防止性能　（漏えい抵抗　R≧1×10^{6}Ω）
構成材の材質　・アルミニウム　・鋼製　・（　）
製造所（　）同等以上

2．可動間仕切（既製間仕切）　(20.2.3)

構 造 形 式	パネル部の総厚さ	表 面 材 種 厚 さ	仕　上　げ
※パネル式 ・スタッド式 ・スタッドパネル式	・（　）以上	※鋼板　・（　） ※0.6　・（　） ・（　）	※メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼付け ・（　）

品質 JIS A 6512によるもの又は評価名簿によるもの

3．移動式間仕切（ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ）　(20.2.4)

表面板	仕上げ	パネル厚	遮音性
・鋼板 ・（　）	・焼付け ・（　）	※６０　・８０　・１００ ・（　）	・一般タイプ ・遮音タイプ

製造所（　）同等以上

④. トイレブース　仕　様　(20.2.5)
パ ネ ル　・メラミン樹脂系化粧板　・ポリエステル樹脂系化粧板　・（　）
部　材　⊙アルミ製　・ステンレス製　・（　）
附属金物　※ステンレス製　・（　）
足 形 状　※幅木型　・足金物型
形　式　⊙T番吊　・中心吊

⑤. 階段滑止め　⊙金属製　材　種　※ステンレス製（SUS304）　・真鍮製　(20.2.6)
形　式　※ビニルタイヤまたは合成ゴムタイヤ入り　・タイヤなし
幅　※３５　・（　）
取付け　※接着工法　・（　）
・磁器製　幅　※６０　・（　）

6．階段手すり

材　種	表面仕上げ	直径（mm）	取付箇所
※集成材	※クリヤラッカー	・60　・45	
・ステンレスパイプ	・ＨＬ		
・鋼製パイプ	・ＥＰ－Ｇ		
・ビニル製			

7．床目地棒　床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる。　(20.2.7)
※ステンレス製６×１２　・ステンレス製４×１２　・黄銅製４×１２

8．黒板及びホワイトボード　※別添2 福岡県黒板工事特記仕様書の項目を適用する　(20.2.8)
・図示による

9．鏡　縁　※なし　・あり（　）　(20.2.9)
ガラス厚　※５mm　・（　）

⑩. 表示　※図示による　(20.2.10)
・下記による

種　類	材　種	寸　法	取 付 方 法
・衝突防止表示	・ステンレス製市販品　・（　）		
・非常用進入口の表示	・市販品　・（　）		
⊙室名札	・ステンレス製　⊙（樹脂製　）・（　）		⊙面付　・持出し
・ピクトグラフ	・ステンレス製　・（　）		
・案内板	・ステンレス製　・（　）		
・（　）	・（　）		
・（　）	・（　）		

備考

承認覧

工事名称　直方・鞍手市町村広域市町村圏事務組合
宮田消防署小竹出張所庁舎建設工事（建築工事）

図面名称　建築工事特記仕様書（３）

有限会社 淵上設計事務所　Tel 0949（22）3407　Fax 0949（22）3549
設計責任者　１級建築士　第257367号　鬼 武　雅 仁

尺度

日付

図面番号　A-04